

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

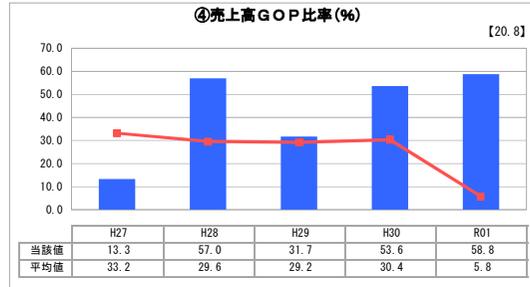
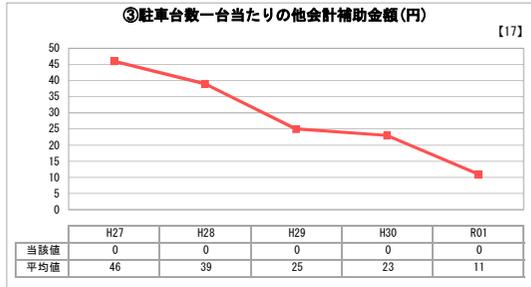
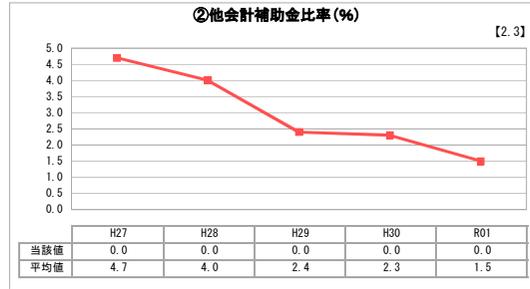
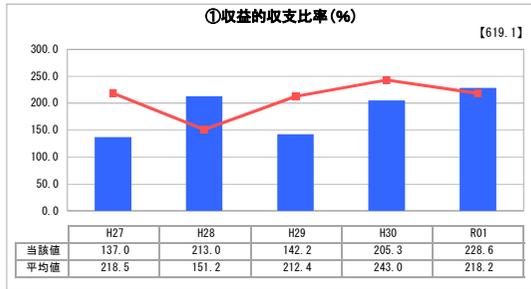
香川県丸亀市 福島駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	39	

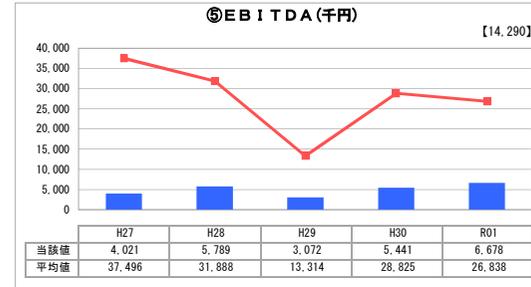
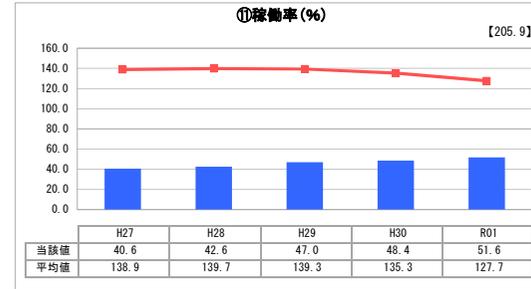
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	6,492
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
345	200	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

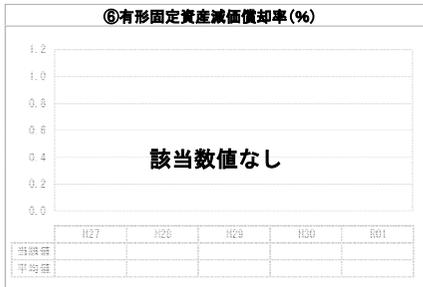
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

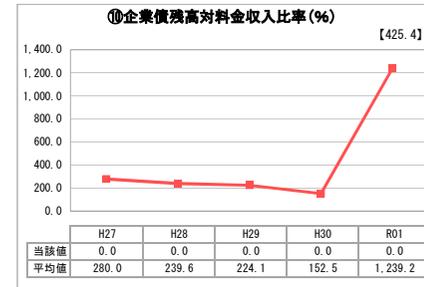
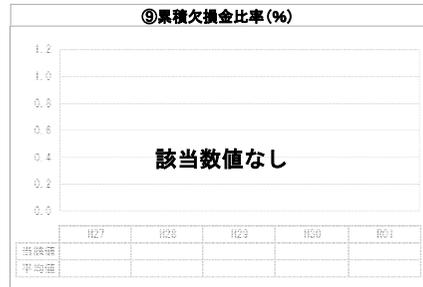


⑦敷地の地価(千円)

102,266

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率については、料金収入の増加により前年度に比べ上昇した。  
 繰入金等もなく、②他会計補助金比率と③駐車場一台当たりの他会計補助金額は0である。④売上高GOP比率については、料金収入が増えたことより前年度に比べ上昇しており、健全な経営状況である。  
 ⑤EBITDAについては、前年度に比べて上昇した。最大料金設定などが、利用者に定着してきたことで、利用台数及び料金収入が増加したことによるものである。

2. 資産等の状況について  
 耐用性が低く、老朽化が進んでおり、補修・改修等に多額の費用が見込まれることから、令和2年度策定予定の経営戦略の中で、近い将来解体する方向である。このため、現時点での⑧設備投資見込額は0としている。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率については、企業債残高はないため、0となっている。

3. 利用の状況について  
 当該駐車場は大規模な駐車場であるが、施設規模に対して利用者数がかなり少ないため、①稼働率が類似施設の平均値よりも大きく下回っている。これは、隣接する商店街の衰退に伴って、当該駐車場利用者数が激減したことによるものである。  
 当該駐車場は、平成29年度から実施している営業時間の24時間化や入庫から1時間以内無料、駐車開始時刻から24時間以内の最高金額を500円などの利用率向上に向けた取組みが定着してきており、前年度に比べ稼働率は上昇した。  
 また、最高金額を500円と設定したことで、駅前地下駐車場（最高金額1,000円）利用者が福島駐車場を利用するようになり、駅前地下駐車場の混雑緩和にも繋がっている。

全体総括  
 現在、収支は黒字で経営自体に問題はない。最高金額を設定したことで利用者数は増加傾向にあり、料金収入も前年度に比べて微増であった。しかしながら、施設の老朽化に伴って更なる設備投資が見込まれることから、黒字幅の縮小が予想される。  
 引き続き、指定管理者と連携し、駐車場の利用促進を図るとともに、令和2年度に策定予定である経営戦略で規模の適正化も含め検討していく。